

様式 3

議事録

☐ 全部記録 ☒ 要点記録

1. 会議名	令和 6 年度 第 3 回 姫路市地域公共交通会議離島航路分科会
2. 開催日時	令和 7 年 1 月 2 1 日（火曜日） 午前 1 1 時 0 0 分～正午
3. 開催場所	姫路ポートセンタービル 5 階 5 0 3 号室
4. 出席者名	出席委員 池田田鶴、井澤一利、井澤智義、大當伸子、岡田ちほり、桂和徳、喜多秀行、高山知久、 田中裕之、中川幸一、畑野長利、正木久義、藪内健吾 (50 音順 敬称略)
5. 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 なし
6. 議題	【審議事項】 令和 6 年度 姫路港～坊勢島航路 地域公共交通確保維持改善計画に係る事業評価
7. 会議概要	
事務局	只今より、「令和 6 年度 第 3 回 姫路市地域公共交通会議離島航路分科会」を開催いたします。 本分科会の開催には、「姫路市地域公共交通会議離島航路分科会規約」第 7 条第 2 項の規定により、委員総数の半数以上の出席が必要とされております。本日は、委員 1 4 名中、半数以上の 1 3 名の出席をいただいておりますので、本会議が成立していることをご報告させていただきます。また、会議は、本分科会規約第 7 条第 5 項の規定により、公開することとなっておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。 【配付資料確認】 本分科会規約第 6 条第 2 項及び第 7 条の規定に基づき、会議の進行につきまして、会長よろしく願いいたします。
会長	本日は、お忙しい中、本分科会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。会議次第に沿って、進行させていただきます。それでは、会議次第「2 審議事項」の「令和 6 年度 姫路港～坊勢島航路 地域公共交通確保維持改善計画に係る事業評価」について事務局より説明をお願いします。
事務局	【事務局説明】
会長	只今の事務局からの説明につきまして、ご意見・ご質問等はございませんか。

委員	ご説明ありがとうございました。基本的にはこれでよろしいかと思います。それで何が良かったかという点、こういった事業評価の結果というのは、収益や利用者数だけに着目して書かれていることが結構多いのですが、この評価ではそれ以外に生活航路として最も大事な利用者の利便性について、皆さんが頑張ってくれたことがかなり具体的に書かれている点が私は非常に良く思いました。願わくは、もう少し踏み込んで書いても良いかと思いました。例えば、資料２の１０ページにキャッシュレス決済について紹介がありますが、これは非常に利便性を高めることに貢献していると思います。これで利用者数や売り上げが増えるというより、むしろ設備を投入する経費が増えていますが、皆さんは、良いものができていると感じておられると思います。収支の側からみると良くないことかもしれませんが、これによってできるサービスの向上など色々な効果を勘案すると、全体として効果的な取組であったという自己評価があってしかるべきだと思います。さまざまな取組をしたが最終的には収益が悪化したという書き方は、なんとなく良くないことをしている印象がありますが、そうではなく、効果的なお金の使い方をして良い取組ができたと高く評価すべきではないかと私は考えます。以上のことを読んだ人が分かるようにしていただければいいかと思います。 全体に利用者数が減ったあるいは、赤字幅が増えた、減ったということだけで、それ以外の努力というものがあまり反映されない報告が全国的に多いです。皆さんいろいろ頑張っているのですからそのところを書いていただいて、数値的には目標を達していないかもしれないが、その取組は結果的には悪いことではない、むしろ改善されているのだということが分かる資料に今後していただきたいと思いました。
会長	利用者や経費の数値的な部分だけに限らず、利便性向上への効果といった部分についても、今後自己評価に反映させていただくということでお願いしたいと思います。 他にご意見ご質問ございませんか。無いようですので審議事項について、令和６年度姫路港坊勢島航路地域公共交通確保維持改善計画に係る事業評価について原案どおり承認ということでよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし
会長	「異議なし」の声をいただきましたので、原案どおり、承認とさせていただきます。続きまして、その他ということで、本日は委員の皆様にお集まりいただき、せっかくの機会ですので何かご意見ご質問等ございましたら、ご発言をお願い致します。
委員	本日は区長として出席させていただいておりますが、高速いえしまの社長でもあります。家島航路について、坊勢島航路の方が先に統合をし、家島の方はその状況を見せていただいているというのが現状です。坊勢島も家島も人口減少が進み、旅客者数が年々減少している中で、家島航路においても、高福ライナーと高速いえしまの統合

	についての話が10年以上前から出ておりました。しかし、なかなか統合に向けた一歩を踏み込むことができない状況が続いておりました。坊勢島航路が国庫補助航路に認定されましたが、当初思っていた国の支援というものが少なかったということで、二の足を踏んでいたところもありました。 また、私どもの採算上の課題であった「高速いえしま」(※中型船名)を昨年、何とか手放すことができました。高福ライナー側も経費がかかる「高速いえしま」があることが理由で統合には踏み切れなかったということもありました。そのような中で令和6年6月頃に高福ライナーの社長と面談する機会があり、そのときに、高福ライナーの社長から統合に向けて積極的な話がありました。私はまだもう少し先かなという考えもありましたが、高福ライナーがそういう気持ちであるということで、一本化について社長同士では話をしました。詳細についてはこれからですので、どんな形で一本化するかということを含め、1年ほどかけて具体的に詰めていきたいと考えています。そうした中でこれが実現できれば、国県市に対して、ご協力をいただくようなことになると思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。
会長	家島航路の2事業者の統合について考えていきたい。詳細についてはこれからということで、統合に際して、神戸運輸監理部のご助言をいただきながら、我々姫路市も一緒になって取り組んでまいりたいと考えております。事務局の方で今の意見に対しまして何かございますか。
事務局	家島航路につきましても人口減少が本土と比べて非常に激しいという中で、令和8年の統合に向けて進められるということですが、まだ詳細な部分については決まっていないということですので、坊勢輝汽船の統合の実績もございますので、市としても、国県と協働で支援に取り組んでまいりたいと考えております。
委員	かなり先を見据えていろいろ検討していただいていることは素晴らしいように思いました。先ほど区長として発言していますとおっしゃいましたが、会議の委員としては区長でよろしいか。
委員	本日は区長として参加していますが、高速いえしまの社長でもあるので報告させていただきました。
委員	それは結構かと思いますが、今のような話がこの会議で対応できる建て付けになっているのか、という点についても改めて検討してみる必要もあるのではないのでしょうか。家島航路は言うまでもなく生活航路として非常に重要で公共性も高い。その維持・充実方策を事業者のご努力のみに委ねている現在の体制で果たして十分でしょうか。もちろん姫路市は事業者からの相談をうけ、支援をしておられる、あるいは将来もそうしていかれるとは思いますが、それらも含めてこういった会議で議論してしかるべきではないかと思ひます。 分科会の規約を見ていると補助事業の検討のための会議のように思えますが、補助

	事業以外の航路について審議をする場も必要ではないでしょうか。もちろん根拠法に基づき設置されているものであることは承知していますが、補助を受けている航路・路線だけを検討するのは少し狭いのではないかと、姫路市の公共交通全般あるいは離島航路全般について総合的に検討すべき場があつてしかるべきではないかと思います。そうならば坊勢島と家島とは非常に密接に関連していますので、関連事業者と委員として出席していただくことも可能でしょうし、お互いの知見を交換する場になると思います。実質的にはされているかもしれませんが、市としてそういった場を整備しているということも大事ではないかと思います。 補助事業のみの検討ではなく、離島航路全体あるいは地域公共交通全体について検討する場があり、その中で補助事業についても必要な処理をするという方が望ましいのではないのでしょうか。姫路市はどのようにお考えでしょうか。
会長	この場については坊勢輝汽船が運航する姫路港坊勢島航路の補助事業についての審議になっています。市としましても単に補助事業を採決するだけではなく、まずは統合に向けた支援を一緒になって航路事業者とともに考えていく。ただ今は組織の体制ができていない。坊勢島航路につきましても国の支援をいただきながら検討を進めてきた経緯があります。今後の家島航路につきましても、これからは島民人口の減少が加速し、将来の推計では 2050 年に 1000 人を下回るものになっていますので、統合して経費を抑えて安定的な運航を航路事業者に維持していただくため、航路事業者の体制についても我々も一緒に考えていきたい。今のところ検討に向けた体制を明文化したものはありませんが、そのあたりを行政としてしっかり取り組んでいきたい。ほかに事務局として補足することはありますか。
事務局	事務局としても先ほど会長が申し上げたとおり、様々な問題が出てくると思いますので、支援をしっかりと行ってまいりたいと考えております。
会長	他にこの件に以外でも結構ですので、何かございましたらご発言願います。
委員	今は、事業があつてそれをどう支えるかという段階かと思います。地域交通や離島航路については、姫路市全体として市民にどういうサービスを提供するのかという観点で考える必要があります。しかし、全てを姫路市直営で行うことはできませんので、船舶の運航に関しては、市としてこんなサービスを島民の方々に提供したいけれど、この部分については事業者にお願ひし、この部分は市が行うなど切り分けてはどうでしょうか。運航だけではなく、例えば高校の話や商業の話といったことが関連して航路の利用に現れてくるので、それらをどのようにするのかを含めて検討していく必要があります。つまり姫路市として行政全般、こういう行政サービスを市民に届けたいが、この部分については、この事業者にお願ひするという形もあり得ると思います。
会長	いただきましたご意見を参考にしまして、運航に限らず様々な分野につきまして市として一緒になって取り組んでまいりたいと考えております。本市では、様々な地域

	公共交通に取り組んでおります。陸路それから航路、航路のお話は本日いろいろお伺いしましたが、陸路においても路線バス、タクシー、家島や坊勢島のコミュニティバスなどがあります。特に路線バスにおいては単に補助金を出しているだけでなく、委員がおっしゃられたような勉強会を定期的に行っており、その中で利用者数を増やす取組や路線の維持、経費の縮減、運賃のことにつきまして、いろいろ議論をさせていただいているところです。 コミュニティバスもそうですが、利便性が悪くなるとどうしても乗らなくなる。乗らなくなると赤字がさらに膨らんでしまうという悪循環になってしまいます。しっかりと利便性を維持して、定住人口が増えない中で交流人口を獲得し、できるだけ利用者数を維持向上させていく取組を陸路でも行っているところです。本日いただきましたご意見を参考にさせていただき、今後家島航路につきましても取り組んで参りたいと思います。他にご意見等ございますでしょうか。
委員	坊勢島航路ではキャッシュレス決済を導入されていますが、これは販売機でできるのでしょうか。
委員	音が小さく聞きとれないことがあるので事務所のみで販売しています。
委員	以前、市から利便性の向上から電子決済の導入を案内されたことがありますが、どのような設備や手続きが必要になるかわからず、そのままになっています。大きな費用をかけてそのような設備を導入することは、なかなか難しいという気持ちはあります。そういった費用に対しての補助金があるのかないのか教えていただきたい。
会長	最近スマホがあればどこでも買い物ができるような時代になっています。若い方は特に多いと思います。ご意見に対して事務局いかがでしょうか。
事務局	現在、キャッシュレス化が進んでおり、設備を導入するにあたり、例えば交通系 IC であれば簡易型 IC 車載機のように初期投資は数百万円で、その後のランニングコストについても月 1000 円程度で済むといったものもあります。そういった情報を収集しながら、また初期投資について国の支援の補助金などの情報も収集しながら、事業者とともにこういった形で取り組んでいけるのかということを検討していきたいと考えております。
委員	IT 化やデジタル化というのは、世界的にも進んでいますが、そういった新しい技術の導入について国交省や内閣府でいろいろな補助メニューがあると思います。そのような情報を国の方から提供していただければと思います。せっかく専門の方がいらっしゃいますので、ここで情報を集めて周知していくということでいかがでしょうか。
委員	IT 化に関わる部分につきましては、交通 DX、GX 化による利便性向上の取組を支援するため、国の補助金のメニューがございます。ただ、設備導入費用を全額補助する

	というわけではなく、2 分の 1 や、中には 3 分の 1 といった補助メニューが複数ございます。それをうまく活用していただいて、IT 化を進めていただければと思います。ご注意いただきたいのは、設備導入にあたっての補助金であり、ランニングコストに対する補助金ではありません。利用者の利便性の向上と、ランニングコスト等の優先度を検討していただき、経営方針を決めていただければと思います。こういった補助金のメニューにつきましては、募集時期に随時姫路海事事務所の方からご案内をさせていただきます。申し込みの期限もございますので、ご意向が固まりましたら、早めに姫路海事事務所にご相談いただければと思います。
会長	本市でも統合に向けた検討に参加させていただく中で、市の支援も合わせて情報提供させていただきたいと思います。他にご意見ございますでしょうか。無いようですので、以上で本日の審議を終了いたしまして事務局に進行をお返しします。
事務局	委員の皆様におかれましては、熱心にご審議いただきましてありがとうございます。なお、本日の審議の結果に基づきまして必要な手続き等を進めてまいりたいと存じます。それでは以上をもちまして、令和 6 年度第 3 回姫路市地域公共交通会議離島航路分科会を終了させていただきます。委員の皆様のご協力をもちまして、円滑な議事を進行することができました。ありがとうございました。